

つなぐ 老健おかなみ

第4号

広報誌

平成29年10月発行

敬老会

夏祭り

敬老会

さわやかな秋風が吹く季節となり、上野の町では天神祭のお囃子の練習が聞こえてくる季節になりました。

今年も老健おかなみでは例年のごとく8月22日に老健夏祭り行事を盛大に行いました。盆踊りや新人によるソーラン節、紙芝居などをお楽しみ頂き、お食事も屋台村にて普段とは違った雰囲気の中、いつもより沢山召し上がられた方も多かったようです。中でもかき氷は大変人気があり、懐かしさを感じられる声を沢山お聞きしました。また、9月22日には敬老会を催し、隣接する託児所のなみっこ子ども達によるダンスに利用者様の顔もほころんでおられました。

次号は来年1月に発行予定です。ご期待ください！

※写真は夏祭りの屋台村で御輿をモチーフにした巨大オムライスです♪

社会医療法人畿内会
介護老人保健施設おかなみ

〒518-0842 三重県伊賀市上野桑町1615
TEL:0595-23-7111 FAX:0595-23-7161

◆◆◆施設長 中川 洵◆◆◆

はじめまして、中川です。昨年の10月から老健おかなみの施設長に着任しました。医療の仕事から介護の仕事になって気付いたことのお話をさせてください。

それは「目標」の違いです、医療現場では病気が治ることが目標ですが、介護現場ではその人の最善の生活ができることが目標となります。「病気が治る」ことは比較的線引きをしやすいのですが、「その人の最善の生活」についてはどう考えたらよいのでしょうか？

私は医者ですのでその人の紹介状を読み、既往歴を知りいろいろなデータを見て現在の病態について理解します。しかしその人が食事の時に周りの人とどんな話をしているのか？今の食事形態でうまく飲み込めてむせ込まないのか？本人の好みに合っているのか？「杖歩行」と書いてあったけどどの程度なのか？日常の細かい動作で不自由な点はないのか？などほとんどの事については介護や看護、リハビリスタッフに聞かないとわかりません。そんな私が一人で目標を決められるわけがありません。ではどうやって老健利用時の目標を決めればよいのでしょうか？

やはり皆の知恵を持ち寄ること、チームで対応することが唯一の解決策でしょう。もちろんご本人やご家族もチームの一員です。そのご希望は重視されますが、もっと高い目標をとく、高過ぎる目標は本人にとって負担になります、などのアドバイスがあります。皆で考えるときのポイントは「その人の最善の生活」です。立場によっていろいろな考え方がありますが、チームとしての目標の一致点を何とか見つけ、それに向けて計画を立て実行です。実行の後には結果を見て再検討が行われます。ご本人の変化やご家族の状況の変化にも対応して再度計画を立てます。この繰り返しこそが今私達ができる最善策だと思っています。

私はこんな風にたくさんの職種のメンバーで同じ目標での一致点を見出していくことがとても楽しみです。これからもよろしくお祈りします。



◆◆◆かんごし◆◆◆

現在看護部では、口腔ケアに力を入れています。高齢者は、老化や障害によって口腔機能が低下しやすい傾向にあります。口腔内を清潔にすることで口腔内細菌の減少や唾液量の増加が誤嚥性肺炎の予防に。また「食物をよく噛む・食事を楽しむ」ことで、脳への刺激が認知機能の低下を予防、改善していくことに繋がります。

看護部の取り組みとしては以下の通りです。

①口腔内ケア

経管栄養の方⇒注入前ブラシ、スポンジブラシで行なう

経口摂取の方⇒入れ歯を外して洗い、うがいを促す
歯が残っている人は、歯ブラシで磨く

②歯科衛生士の口腔ケア

③必要時口腔外科受診

④嚥下体操⇒集団で口や舌・首の運動などを、職員と一緒に

これからも肺炎予防・安全に食事が出来るように努めていきます。

